

令和3年度日進市要保護児童対策地域協議会代表者会議議事録要旨

日時	令和3年7月14日（水）午後2時30分から午後3時45分		
場所	日進市役所本庁舎4階 第1会議室		
出席委員	前田清	(愛知県中央児童・障害者相談センター長)	
	杉原孝子	(瀬戸保健所健康支援課長)	
	岩田芳尚	(愛知警察署生活安全課長)	
	関根聖美	(民生委員・主任児童委員代表)	
	寺井陽一	(市内児童養護施設代表)	
	南千景	(日進私立幼稚園協会代表)	
	川北稔	(日進市子どもの権利擁護委員代表)	
	山本眞理子	(日進市人権擁護委員代表)	
	伊東あゆみ	(健康福祉部担当部長・福祉事務所長)	
	市川秋広	(学習教育部長)	
	石川博之	(日進市障害者福祉センター長)	
議長	川本賀津三	(こども未来部長)	12名
欠席委員	津田こずえ	(香久山こどもクリニック医師)	
事務局	子育て支援課	3名(次長兼課長、課長補佐兼係長(家庭相談係)、家庭相談員)	
傍聴可否	可	傍聴有	3名

議長による開会宣言

あいさつ 委員紹介

●議題等

(1) 令和2年度日進市要保護児童対策地域協議会事業実施状況報告等について

(日進市から報告)

- ・令和2年度要保護児童対策地域協議会事業実施状況
- ・虐待通告受付件数
- ・要保護児童対策地域協議会事業月別件数
- ・家庭児童相談室における相談又は指導数

【質疑等】

委員：資料2-3について、令和元年度の対象児年齢で産前2件とある。子どもの虐待と言うと生まれてから、という印象だが、産前とはどういった状況なのか。

事務局：妊婦の方で、家庭環境に心配がある・気分の落ち込みが大きい等、産後の子の養育について産前から支援を行うことが特に必要と認められたケ

ースである。

(2) 愛知県中央児童・障害者相談センター虐待対応状況等について

(中央児相から報告)

- ・ 県内の児童虐待推移について
- ・ 中央児相管内市町別虐待件数について
- ・ 日進市の状況について
- ・ 新型コロナウイルス感染症と児童虐待・DV について

【質疑等】

委 員：地域を見守る立場として、日頃から気を付けるとよい点についてアドバイスはあるか。

児 相：まずは地域の子どもに関心を持って、子どもの居住状況を把握してもらいたい。児相の職員は増員しているが、日頃の様子を十分に把握できるような状況ではない。主任児童委員等、日頃から地域の子どもたちと接する機会がある方には積極的に子どもたちとのコミュニケーションを図ってもらいたい。

委 員：市町村送致について、児相に通告があった場合でも、市町村が対応した方が効率的であれば市町村送致となるとの説明であったが、学校現場では児相か市町村かのどちらに連絡すればいいのか判断に困ることがある。連絡先についての判断基準はあるのか。

児 相：厳密に区別をすると対応が難しくなることもある。最近では、明らかに保護が必要という場合でなければ、まずは学校から市町村に相談するケースが増えている。

(3) 愛知署管内の児童虐待対応状況等について

- ・ 中学生、高校生の対応件数が増えている。
- ・ 虐待事案を取り扱う中で、状況に応じて捜査を行い、事件化を図っている。

【質疑等】 なし

(4) 意見交換

各機関の状況報告

午後 3 時 4 5 分 議長による閉会宣言